要旨

2000年から１8年間の大気中宇宙線生成核種Be-7の日変動観測結果を示した。２３期から２４期へかけてのBe-7濃度変動量は、太陽黒点数の変動量と同じ値であった。Be-7濃度時間変動プロファイルの要因を調べるため大気の流跡線にBe-7生成率を結合する計算法を開発している。Be-7濃度のX9.3太陽フレアー事象への応答を調べた。その他、乗鞍高度でのBe-7濃度の時間変動結果を示した。また山形におけるCs-137濃度の時間推移を示した。